

教育厚生常任委員会の視察

兵庫県 播磨町 きめ細かな子育て支援

- ① 母体を守る
歯科検診、麻しんや風しん予防接種への助成
- ② 父親の参画
両親教室、父子手帳の交付
- ③ 不妊治療への助成
県費15万円に町が10万円上乘せし、通算10回まで助成

- (出産後)
- ① 訪問事業の他、任意予防接種への助成
- ② 乳幼児健診時に主任児童員や幼稚園教諭も参加、未受診者へのフォロー
- ③ ベビー用品貸し出し(無償)や3人乗り自転車レンタル事業
- ④ 「赤ちゃんの駅」事業公共施設に設置

所感

播磨町は面積が9・03キロメートルと小さいながら企業が集中し税収が安定。効率のよい行政運営が可能という強みがある。また、視察に際し、首長自ら説明をされるというトップの姿勢は、まちづくりにおいて重要であると感じた。



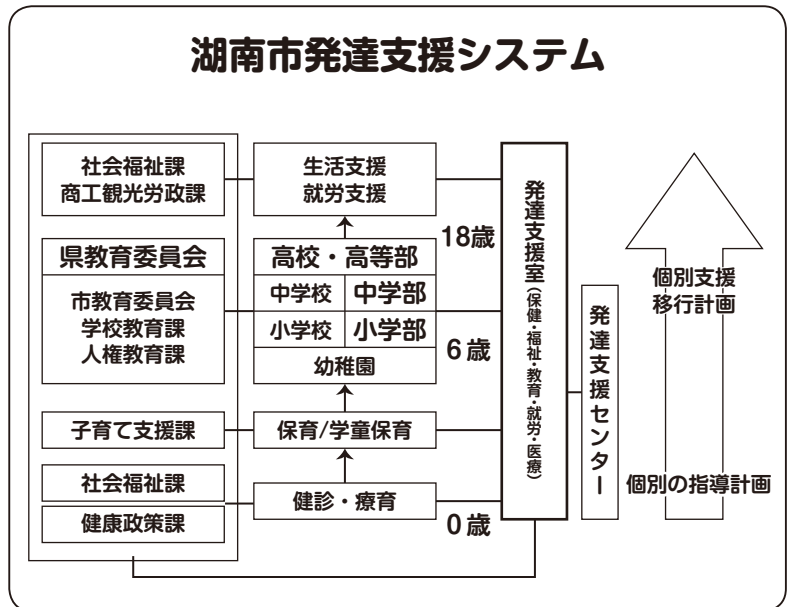
「赤ちゃんの駅」 人目を気にせずおむつ替えや授乳

滋賀県 湖南市 発達障がいへの深い理解

発達支援システム

支援が必要な人に対して、乳幼児期から学齢期、就労期まで、保健・福祉・医療・教育・就労の関係機関の横の連携による支援と個別の指導計画による支援を行っている。
発達障がいへの深い理解と専門性に裏付けられている。

湖南市発達支援システム



発達支援相談

気づきを大切にし、保護者の「わが子の障がい」を認めたくない、思いにも共感しつつ、保育園や発達相談員、保健師などが包括的に支援を行っている。



所感

このシステムは0歳の乳幼児健診から18歳の就労支援、生活支援までと続き、障がい者も生き生きと地域で暮らし、就労も継続しているという、本当に一人ひとりを大切にしている施策であると感じた。

滋賀県 大津市 議員発議で いじめ防止条例

中学生の「いじめによる自殺」をきっかけに議員発議でいじめ防止条例が制定された。議会では政策検討会を設置し、加熱するマスコミ報道の中、非公開にて17回に及ぶ会議を行った。

条例は、それぞれの責務が明確に書かれている。条例の実施状況の検討や条例自体の見直しも視野に入れていく点は評価に値する。

所感

条例に「子どもの役割」が明文化されたこと等に市民団体から異論や懸念が寄せられたようである。
いずれにしても慎重な運用が求められる。議会の政策立案能力を高めるとい点では学ぶべきものがある。

議会運営委員会の視察

京都府 亀岡市議会

議会改革ランキング8位

早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革2012年ランキング8位と、議会改革に熱心に取り組んでいる。

主な取り組みは、質疑の通告制採用、議長交際費の公開、議員定数削減、ホームページ開設、一般質問に一間一答方式導入、常任委員会の月例開催、政治倫理条例・議会基本条例の制定、議会報告会開催などである。

常任委員会の月例開催

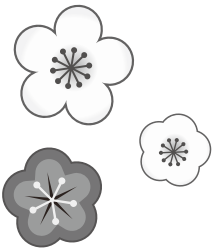
執行機関から重点施策の経過説明や制度説明等受け、委員間で情報共有している。毎月開催。常任委員会のレベルアップにつながり、本市議会において

も必要性を感じる。

議会が一体となって

決算特別委員会の審査で、各所管別に審査を行い、抽出した事業を決算全体会で評価している。

評価結果を執行機関に送付し、改善等の対応の報告を受ける。次年度の予算に審査内容が反映されていないと、予算の修正可決となる場合もあるとのこと、議員個々の提言では実現しないことも、議会が一体となって執行部と対峙することにより、市民の声が市政に反映される。



京都府 木津川市議会 議会は合議体として

議会改革の主な取り組みや成果は、亀岡市議会の取り組み内容をほぼ踏襲しているが、それ以外の特徴的なものでは、自由討議、議員研修会の開催、政策の形成過程・予算及び決算の説明資料の提出等である。



予算編成への政策提言

実施要領を制定し、主に委員会において自由討議を行っている。決算特別委員会では、次年度の予算編成への政策提言を行うべく試行したが、全会一致とはならず、政策提言には至らなかった。議会は合議体として意見を集約していかなければならない。自由討議を行うことによって、議案の修正がでてくる場合もあるとのこと。

政策形成の説明を

政策等の形成過程の説明資料は、新規事業、大幅な増加になる事業や予算について、提出を求めている。詳細であり、審査資料として非常にわかりやすいが、作成する執行部は負担となるのでは。

知識の習得は不可欠

講師を招いての研修会は本市議会にも必要と考える。議員発議で条例を制定する場合などに知識の習得は不可欠である。

奈良県 奈良市議会

情報公開度全国4位

特徴的な取り組みは、情報公開の推進インターネット中継・録画配信、ホームページ広報、本会議における傍聴人への議案書の貸出し、

正副議長選挙における立候補制、審議会への議員参画の見直し、議会による政策評価及び事業評価等である。これらの取り組みで、情報公開度ランキングで、全国順位4位との評価を受けている。

充実したホームページ

市長提出議案、陳情請願文書表、意見書・



決議、議案付託表、議決結果一覧表、議案賛否一覧表、委員会のインターネット中継・録画配信などがある。

視察を終えて

視察では亀岡市議会が最も参考になった。今後、「常任委員会の月例開催」「ホームページ広報の充実」「委員会のインターネット中継・録画配信」などを実施する場合には、議会事務局の充実強化も必要となる。本市議会も議会改革にまい進していく。